

高校教育指導課通信 VOL.10

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第10号は広島工業高等学校です。

令和2年6月15日(月)

広島工業高等学校 <http://www.hiroshima-th.hiroshima-c.ed.jp/>

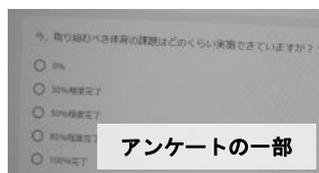
主体的な学びを促す授業づくり

— ICTを有効に活用した授業構想 —

自主登校中の取組状況を踏まえて再開後の授業構想へ

【自主登校中の取組】

○5月中の課題の取組状況は生徒にアンケートを行い、実態把握をして、その結果を再開後の授業に活かしています。



○自主登校中には、生徒達自身もオンライン動画の作成に取り組みました。



【再開後の授業】

○工業の技術を学ぶ実習の授業については、生徒に実習のイメージを認識させ、主体的な学習を促すため、動画を作成して反転学習を推進しています。授業の導入部分の時間を短縮できるので、授業のスリム化を図り、再開後の限られた授業時間でも効率よく進められます。



担当の先生より

- 工業の各学科の教材動画は定期的にHPにアップしています。
- 本校の生徒だけでなく、中学校の技術の先生や中学生達にも見てもらい、参考にしてもらったり、工業を学んでみたいという動機付けにしてもらいたいという思いを込めています。

推進役を中心とした校内体制づくり

— 各学科、各教科の自主性を促す研修 —

持続的なICTの活用の可能性を探って

【年度当初のICT活用の研修】

(内容)

○第1回：4月

学校教育情報化推進課の指導主事を講師として招き、G Suiteの基本操作を学ぶ。

○第2回：5月

情報推進担当が講師となり、動画作成の手順を学ぶ。

(成果)

○各学科、各教科の代表者に研修を実施し、それぞれの科に代表者から広げてもらう形をとりました。そのことによって、各学科、各教科でICT活用を牽引する推進役が生まれています。

担当の先生より

【今後のICTの活用について】

- 学校再開後の授業の中で、課題の内容についてはパフォーマンス評価できるものを日常的に実施し、定期試験のみによる評価とにならないように各教科に考えてもらう予定です。ICTを有効に活用できる部分を検討していきます。
- 工業科では、実習レポート、コメント、写真などを生徒個人がG Suiteに蓄積し、ポートフォリオ的に見取れるような評価の在り方も考えていきたいと思っています。

